

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【公表番号】特表2007-501252(P2007-501252A)

【公表日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-003

【出願番号】特願2006-522714(P2006-522714)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 31/4745 (2006.01)

A 6 1 K 31/437 (2006.01)

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 P 27/16 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 3/12 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 37/02

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 31/4745

A 6 1 K 31/437

A 6 1 K 47/04

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 47/10

A 6 1 P 27/16

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 3/12

A 6 1 P 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月6日(2007.8.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

免疫応答調整剤：

水；

親水性粘度向上剤；

を含む水性製剤であって、

ただし、前記親水性粘度向上剤が前記免疫応答調整剤に共有結合しないことを条件とし

；

室温で溶液であり、かつ室温で 100 c p s 未満の粘度を有する、水性製剤。

【請求項 2】

前記免疫応答調整剤が、正に荷電した免疫応答調整剤である、請求項 1 に記載の水性製剤。

【請求項 3】

前記親水性粘度向上剤が、負に荷電している、請求項 1 または 2 に記載の水性製剤。

【請求項 4】

前記親水性粘度向上剤が、セルロースエーテル、多糖類ガム、アクリル酸ポリマー、およびその組み合わせからなる群から選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の水性製剤。

【請求項 5】

前記親水性粘度向上剤が、カルボン酸基および / またはカルボキシレート基を含有する、請求項 4 に記載の水性製剤。

【請求項 6】

前記親水性粘度向上剤が、アクリル酸ポリマー、カルボキシメチルセルロースナトリウム、キサンタンガム、およびその組み合わせからなる群から選択される、請求項 5 に記載の水性製剤。

【請求項 7】

前記免疫応答調整剤が、5 員窒素含有複素環に縮合した 2 - アミノピリジンを含む化合物である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の水性製剤。

【請求項 8】

前記免疫応答調整剤が、イミダゾキノリンアミン；テトラヒドロイミダゾキノリンアミン；イミダゾピリジンアミン；6, 7 - 縮合シクロアルキルイミダゾピリジンアミン；1, 2 - 架橋イミダゾキノリンアミン；イミダゾナフチリジンアミン；イミダゾテトラヒドロナフチリジンアミン；オキサゾロキノリンアミン；チアゾロキノリンアミン；オキサゾロピリジンアミン；チアゾロピリジンアミン；オキサゾロナフチリジンアミン；チアゾロナフチリジンアミン；ピリジンアミン、キノリンアミン、テトラヒドロキノリンアミン、ナフチリジンアミン、またはテトラヒドロナフチリジンアミンに縮合した 1 H - イミダゾ二量体；およびその組み合わせからなる群から選択される、請求項 7 に記載の水性製剤。

【請求項 9】

前記免疫応答調整剤が、アミド置換イミダゾキノリンアミン、スルホンアミド置換イミダゾキノリンアミン、尿素置換イミダゾキノリンアミン、チオエーテル置換イミダゾキノリンアミン、7 - アリール置換イミダゾキノリンアミン、7 - ヘテロアリール置換イミダゾキノリンアミン、スルホンアミド置換テトラヒドロイミダゾキノリンアミン、およびその組み合わせからなる群から選択される、請求項 8 に記載の水性製剤。

【請求項 10】

前記免疫応答調整剤が：

N^1 - { 4 - [4 - アミノ - 2 - (2 - メトキシエチル) - 6, 7, 8, 9 - テトラヒドロ - 1 H - イミダゾ [4, 5 - c] キノリン - 1 - イル] プチル } - 4 - フルオロ - 1 - ベンゼンスルホンアミド、

N - [3 - (4 - アミノ - 2 - プチル - 1 H - イミダゾ [4, 5 - c] キノリン - 1 - イル) プロピル] モルホリン - 4 - カルボキサミド、

N - { 3 - [4 - アミノ - 2 - (2 - メトキシエチル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] - 2 , 2 - ジメチルプロピル } - N ' - フェニル尿素、

N - { 2 - [4 - アミノ - 2 - (エトキシメチル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] - 1 , 1 - ジメチルエチル } メタンスルホンアミド、

2 - ブチル - 1 - [2 - (プロピルスルホニル) エチル] - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 4 - アミン、

N - { 2 - [4 - アミノ - 2 - (エトキシメチル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] - 1 , 1 - ジメチルエチル } - 2 - エトキシアセトアミド、

N - { 4 - [4 - アミノ - 2 - (シクロプロピルメチル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] ブチル } メタンスルホンアミド、

N - { 2 - [4 - アミノ - 2 - (エトキシメチル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] - 1 , 1 - ジメチルエチル } - N ' - シクロヘキシル尿素、

N - { 2 - [4 - アミノ - 2 - (エトキシメチル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] - 1 , 1 - ジメチルエチル } シクロヘキサカルボキサミド、

N - { 2 - [4 - アミノ - 2 - (エトキシメチル) - 6 , 7 , 8 , 9 - テトラヒドロ - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] - 1 , 1 - ジメチルエチル } メタンスルホンアミド、

N - [3 - (4 - アミノ - 2 - ブチル - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル) - 2 , 2 - ジメチルプロピル] メタンスルホンアミド、

N - [2 - (4 - アミノ - 2 - ブチル - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル) - 1 , 1 - ジメチルエチル] メタンスルホンアミド、

N - { 2 - [4 - アミノ - 2 - (2 - メトキシエチル) - 6 , 7 , 8 , 9 - テトラヒドロ - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] - 1 , 1 - ジメチルエチル } メタンスルホンアミド、

1 - [4 - アミノ - 7 - (5 - ヒドロキシメチルピリジン - 3 - イル) - 2 - (2 - メトキシエチル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] - 2 - メチルプロパン - 2 - オール、

1 - [4 - アミノ - 7 - (3 - ヒドロキシメチルフェニル) - 2 - (2 - メトキシエチル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] - 2 - メチルプロパン - 2 - オール、

N - { 3 - [4 - アミノ - 1 - (2 - ヒドロキシ - 2 - メチルプロピル) - 2 - (メトキシエチル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 7 - イル] フェニル } メタンスルホンアミド、

{ 5 - [4 - アミノ - 2 - (2 - メトキシエチル) - 1 - (2 - メチルプロピル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 7 - イル] ピリジン - 3 - イル } メタノール、

1 - [4 - アミノ - 2 - (エトキシメチル) - 7 - (ピリジン - 3 - イル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] - 2 - メチルプロパン - 2 - オール、

1 - { 4 - アミノ - 2 - (エトキシメチル) - 7 - [5 - (ヒドロキシメチル) ピリジン - 3 - イル] - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル } - 2 - メチルプロパン - 2 - オール、

N - (2 - { 4 - アミノ - 2 - エトキシメチル - 7 - [6 - (メタンスルホニルアミノ) ヘキシルオキシ] - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル } - 1 , 1 - ジメチルエチル) メタンスルホンアミド、

N - (6 - { [4 - アミノ - 2 - エトキシメチル - 1 - (2 - メタンスルホニルアミノ - 2 - メチルプロピル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 7 - イル] オキシ } ヘキシル) アセトアミド、

N - [2 - (4 - アミノ - 2 - エトキシメチル - 1 - プロピル - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 7 - イルオキシ) エチル] メタンスルホンアミド、

1 - [4 - アミノ - 2 - (エトキシメチル) - 7 - (1 H - ピラゾール - 4 - イル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] - 2 - メチルプロパン - 2 - オール

、
3 - [4 - アミノ - 2 - (エトキシメチル) - 7 - (ピリジン - 3 - イル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] プロパン - 1 , 2 - ジオール、
およびその組み合わせ、
からなる群から選択される、請求項 9 に記載の水性製剤。

【請求項 11】

前記免疫応答調整剤が、N - { 2 - [4 - アミノ - 2 - (エトキシメチル) - 1 H - イミダゾ [4 , 5 - c] キノリン - 1 - イル] - 1 , 1 - ジメチルエチル } メタンスルホンアミドである、請求項 10 に記載の水性製剤。

【請求項 12】

前記免疫応答調整剤が、カルボン酸、ハロ酸、硫酸、リン酸、ジカルボン酸、トリカルボン酸、およびその組み合わせからなる群から選択される酸の塩である、請求項 7 に記載の水性製剤。

【請求項 13】

前記免疫応答調整剤の前記塩が、臭化水素酸、塩化水素酸、乳酸、グルタミン酸、グルコン酸、酒石酸、コハク酸、およびその組み合わせからなる群から選択される酸の塩である、請求項 12 に記載の水性製剤。